

令和2年度 事務事業総点検シート(1)  
[ 令和元年度事務事業 ]

一般会計					事務事業分類	A 一般事務事業
事務事業名	堺市シルバー人材センター運営補助				シート番号	011-080
担当部署名	健康福祉	局	長寿社会	部	長寿支援	課 評価責任者(課長名)
						羽野

Ⅰ. 基本情報

基本情報	1	堺市マスタープランの政策体系に基づく事業の位置付け	政策	1	暮らしの確かな安全・安心を確保します	後期実施計画の位置付け
			施策	2	地域全体で支える福祉の仕組みづくり	無
	2	事業開始年度	昭和 56 年度		終了(予定)年度	— 年度
	3	根拠法令等(法令、条例、規則、要綱等)	老人福祉法 高齢者等の雇用の安定等に関する法律			
	4	関連計画	堺市高齢者保健福祉計画・介護保険事業計画(平成30(2018)～32(2020)年度)			
5	事業実施の経緯	急速な高齢化が進展する中で、高齢期を有意義に、健康に過ごしたいと希望する高齢者が増え、定年退社後も働きたいと希望する高齢者の増加を受け、昭和56年 堺市シルバー人材センターを設立。市は当団体の運営費の一部を補助している。				

Ⅱ. 事業概要

事業概要	6	事業の実施主体(誰が実施しているのか。)	<input checked="" type="checkbox"/> 本庁 <input type="checkbox"/> 各区 <input type="checkbox"/> 出先機関 ( ) <input checked="" type="checkbox"/> 市外郭団体 <input type="checkbox"/> 地域団体・市民 <input type="checkbox"/> 民間企業・NPO <input type="checkbox"/> その他 ( )			
	7	事業の対象(誰を、何を対象としているのか)	公益社団法人 堺市シルバー人材センター			
	8	事業の目的(どのような状況にしたいのか)	公益社団法人 堺市シルバー人材センターにかかる経費の一部を補助することにより、当該団体の事業が円滑に実施され、高齢者の就業機会の増大と福祉の増進を図るとともに、高齢者の能力をいかした活力ある地域社会づくりに寄与することを目的とする。			
	9	事業内容(スケジュール、実施方法・手段、事業ボリュームなど)	公益社団法人堺市シルバー人材センターは、自らの生きがいの充実と社会参加を希望する高齢者が会員となり、自主的に運営する営利を目的としない団体で、臨時的かつ短期的、またはその他の軽易な業務を引き受け、会員の希望と適性等を配慮して会員に提供し、会員が自主的な選択により就業するものである。 高齢者の就業機会の増大と福祉の増進を図るとともに、高齢者の能力をいかした活力ある地域社会づくりに寄与することを目的とし、事業に係る諸経費及び当該事業の運営に要する経費の補助を行っている。 <input type="checkbox"/> 直接実施 <input type="checkbox"/> 指定管理 <input type="checkbox"/> 委託 <input checked="" type="checkbox"/> 補助金 <input checked="" type="checkbox"/> 負担金 <input type="checkbox"/> その他 ( )			
10	直接実施以外の主な支出先	公益社団法人 堺市シルバー人材センター				

Ⅲ. 投入量

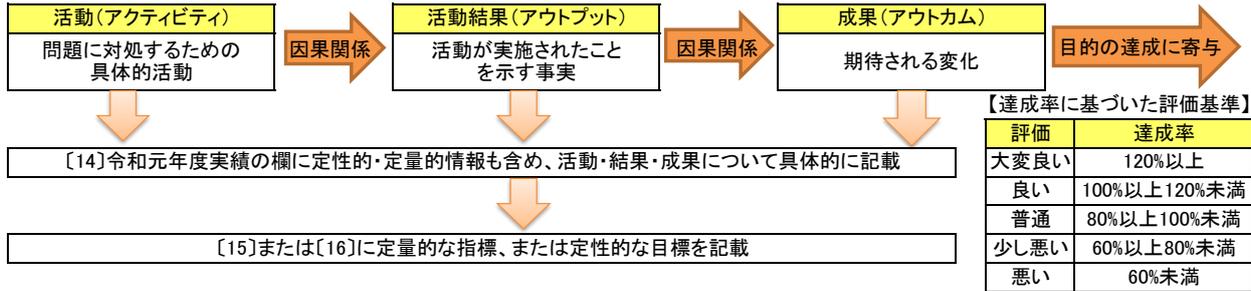
項目	単位	平成29年度		平成30年度		令和元年度		令和2年度
		予算	決算	予算	決算	予算	決算	予算
11 事業コスト								
事業費 (a)	千円	56,130	56,130	53,130	53,130	50,130	50,130	50,130
主な事業費内訳	補助金	千円	56,000	56,000	53,000	53,000	50,000	50,000
	全国・大阪府シルバー人材センター賛助会員費	千円	130	130	130	130	130	130
財源内訳	国・府支出金	千円						
	受益者負担金(使用料、手数料等)	千円						
	市債	千円						
	その他( )	千円						
一般財源	千円	56,130	56,130	53,130	53,130	50,130	50,130	50,130
12 人件費 (b)	千円	2,460	2,460	2,460	2,460	2,430	2,430	2,460
13 総コスト(c)=(a)+(b)	千円	58,590	58,590	55,590	55,590	52,560	52,560	52,590

## 令和2年度 事務事業総点検シート(2)

事務事業名	堺市シルバー人材センター運営補助	シート番号	011-080
-------	------------------	-------	---------

### Ⅳ. 評価(測定・分析)》

#### ロジックモデルの考え方



#### 事業の活動実績や成果

令和元年度実績						
<p>公益社団法人 堺市シルバー人材センターの運営にかかる経費の一部を補助を行った。結果、以下に記載する高齢者の就業機会の増大と福祉の増進、また、高齢者の能力を生かした活力ある地域社会づくりに寄与することにつながることができた。</p> <p>令和元年度のシルバー人材センターの活動実績</p> <p>1. 会員拡大と就業機会の確保・拡大 市内全域へチラシ配布を行うとともに、入会説明会・研修会の内容を見直し、会員の確保、特に女性の入会促進を図った。また、就業機会の確保・拡大をめざし、就業開拓活動の刷新及び増員を図った。</p> <p>2. 安全・適正就業の推進 安全就業を最重要課題の一つとして位置づけし、就業中や途上の事故、損害賠償事故ゼロを目指して、安全研修や安全パトロールの強化を図った。また、「会員就業基準」及び「適正就業ガイドライン」の周知・指導等を推進した。</p> <p>3. 会員資質の向上と育成 会員が構成員として成り立っている者であることの認識を深め、「自主・自立、共働・共助」の基本理念のもと、会員に自主的・積極的な事業参加を促すとともに、就業にあたっては、顧客満足度の高い仕事を通して信頼度を確保する取り組みを推進した。</p> <p>4. 会員活動の活性化 会員が自主的・積極的に事業に参画するとともに、趣味やサークル活動を通して、地域や職域での会員相互の交流の促進に務めた。</p>						
活動実績と成果	14	指標名【成果指標】	単位	平成29年度	平成30年度	令和元年度
	登録会員数	人	目標値	6,750	6,500	6,500
			実績値	5,836	5,682	5,939
			達成率	86%	87%	91%
		評価	普通	普通	普通	
算出方法・設定根拠など						
活動実績と成果	15	指標名【成果指標】	単位	平成29年度	平成30年度	令和元年度
	契約件数	件	目標値	18,450	18,450	20,000
			実績値	18,167	18,240	18,029
			達成率	98%	99%	90%
		評価	普通	普通	普通	
算出方法・設定根拠など						

#### 事業の効率性

		区分	単位	平成29年度	平成30年度	令和元年度
17	①	登録会員数	人	5,836	5,682	5,939
	②	上記①にかかる年間経費	千円	58,590	55,590	52,560
	③	単位当たり経費(②÷①×1,000円)	円/単位	10,039	9,784	8,850
備考(算出についての説明等)						
		区分	単位	平成29年度	平成30年度	令和元年度
18	①	契約件数	件	18,167	18,240	18,029
	②	上記①にかかる年間経費	千円	58,590	55,590	52,560
	③	単位当たり経費(②÷①×1,000円)	円/単位	3,225	3,048	2,915
備考(算出についての説明等)						

#### 業績の分析

19	<p style="text-align: center;">目標を達成できた、または達成できなかった要因や効率性についての分析 (その他、関連情報に基づいた分析)</p> <p>・高齢者が増加している一方、民間企業の定年延長や働き方の多様化などにより、登録会員数の減少が続いているなか、令和元年度は会員募集活動に特に注力した取り組みにより会員数増加につながった。</p> <p>・契約件数については、過去2年微増していたものの、今年度は減少に転じた。団体における就業機会拡大の取り組みは、継続的に実施されていたものの、コロナウイルスの影響もあり、1月～3月の契約件数の減少が特に顕著となった。</p>	
----	---	--

#### 【分析のチェックポイント】

- 事業の達成度はどうでしたか。
- 5W2Hを踏まえて、実施過程に問題はありませんでしたか。
- 資源投入は適切でしたか。
- 事前想定できない外的要因の影響はありませんでしたか。
- 有効性は高いですか。低いですか。
- 効率性は向上していますか。
- RPA等をはじめとするICTを活用する余地はありませんでしたか。
- ターゲットに応じた最適媒体の選定など、戦略的な広報ができていましたか。

令和2年度 事務事業総点検シート(3)

事務事業名	堺市シルバー人材センター運営補助	シート番号	011-080
-------	------------------	-------	---------

《V. 点検》

＜点検の前提＞

- 新型コロナウイルス感染症の影響により、本市の財政運営は今後一層厳しくなる
- 新型コロナウイルス感染症拡大防止と社会経済活動の両立をめざす

○上記「点検の前提」を踏まえ、事業の抜本的な見直しを検討するもの。

⇒

確認

コロナ禍を踏まえた点検（必要性・有効性・効率性）	20	本市財政運営が厳しくなることが想定される中、当該事業を廃止できないか。	事業廃止の可能性 <input type="checkbox"/> 廃止できる <input checked="" type="checkbox"/> 廃止できない	廃止した場合に市民生活等に及ぼす具体的な影響 少子高齢化が進展する中、労働力の確保と多くの高齢者に就業の機会を提供することを通じて、働き手である高齢者の生きがい、健康づくりに役立っている。また、契約件数などから市民ニーズは一定数あり、継続的な事業実施が適切であると考えられる。	
	21	(20で廃止できるを選択しなかった場合) 本市財政運営が厳しくなることが想定される中、当該事業を休止(延期)できないか。	事業休止の可能性 <input type="checkbox"/> 休止(延期)できる <input checked="" type="checkbox"/> 休止(延期)できない	休止した場合に市民生活等に及ぼす具体的な影響 同上	休止の場合の再開時期 <input type="checkbox"/> 令和2年度中 <input type="checkbox"/> 令和3年度 <input type="checkbox"/> 令和4年度以降
	22	(20で廃止できるを選択しなかった場合) 本市財政運営が厳しくなることが想定される中、事業規模を縮小するなど、コスト縮減を図ることができないか。	コストの縮減 <input type="checkbox"/> 一部廃止しコスト縮減できる <input type="checkbox"/> 一部休止しコスト縮減できる <input type="checkbox"/> 規模等を縮小しコスト縮減できる <input type="checkbox"/> 事業手法等を改善しコスト縮減できる <input checked="" type="checkbox"/> 縮減できない	縮減できる場合は具体的な縮減内容、できない場合はその理由 就業機会を提供する団体を育成し、高齢退職者の職業生活の充実などを増進するべく、市から一部補助金を投入しているが、多くは団体の自主財源により事業運営が行われている。補助金額は団体が策定した計画(シルバーフィールドプラン)に基づき、段階的に減額しており、センターの収支状況に鑑みると、これ以上の縮小は団体活動に多大な影響を及ぼすと考えられる。	
	23	(20で廃止できるを選択しなかった場合) 社会経済活動の維持・回復のほか、3密を避けるなどの市民や民間の活動変容への対応に向け、実施手法を改善する必要がないか。	事業手法の適切性 <input type="checkbox"/> 改善する必要がある <input type="checkbox"/> 改善する必要がない <input checked="" type="checkbox"/> 既に対応できている	改善する場合は改善策、その他は理由 作業については、従事する人数を減らしたり、3密回避の手法を導入したりしながら、リスク管理したうえで実施している。また、会議などは、書面開催や人数を減らすなど、適宜方法を変更している。	
	24	(20で廃止できるを選択しなかった場合) 効果的・効率的な事業の実施に向け、右に掲げる視点から改善できないか。	① <input checked="" type="checkbox"/> 公民連携の推進 ② <input type="checkbox"/> ICT活用による効率化 ③ <input checked="" type="checkbox"/> 他部局との適切な連携・役割分担 関係部署名 ( ) 関連事業名 ( ) ④ <input type="checkbox"/> 国・府等との適切な役割分担・連携 ⑤ <input checked="" type="checkbox"/> 他政令市等との比較におけるサービス水準の均衡 ⑥ <input type="checkbox"/> その他 ( )	理由・説明	全国各市でシルバー人材センターが設立されており、全国シルバー人材センター事業協会や大阪府シルバー人材センター協議会を通じて、情報共有をはじめ、連携を図っている。また、契約金額でみた場合、政令指定都市シルバー人材センター内で第5位と、高実績であることから、従事者や地域への貢献度は高いと考えられる。
25	これまでの点検を踏まえ、今後の事業のあり方についてどのように考えるか。	事業の方向性 <input type="checkbox"/> 廃止 <input type="checkbox"/> 休止または延期 <input type="checkbox"/> 事業を縮小 <input type="checkbox"/> 改善して継続 <input checked="" type="checkbox"/> 現状を継続 <input type="checkbox"/> 事業を拡充	実施年度 <input type="checkbox"/> 令和2年度 <input type="checkbox"/> 令和3年度 <input type="checkbox"/> 令和4年度以降	所見 令和2年4月に「第4次シルバーフィールドプラン(中期計画)」(計画期間:令和2年度～6年度)を作成し、今後5年間の事業運営方針を明確化し、数値目標を設定している。堺市としては、高齢者の就業機会の確保に向けた取組みを実施していく。	